

一方、周辺環境の整備を含め、行政と一体となって地域活性化を図ってほしい。固定納付金の納付が確実に実現されるよう努力してほしい。グラバー園が、本市の観光を牽引する施設となるよう、集客力の向上に重点を置いて努力してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

そのほか、長崎スカイウェイを廃止しようとする議案などを原案どおり可決しました。



グラバー園

建設水道委員会

「この里の管理に関する
「公の施設の指定管理者の指定について」を否決

委員会では、指定管理者に指定しようとする団体の業務実績がほとんどないため、指定期間における運営の見通しなどについて慎重に審査しました。

その結果、当該団体は、組織や経営基盤が脆弱であること、役員ほとんどが本市の住民ではなく、本市に経済効果があるのか疑問であること、昨年、ハム・ソーセージなどを

あぐりの丘の自家製と称して販売し、問題となったファームの関係者の妻が、当該団体の設立にかかわっており、健全で、充実した管理をできるのか疑問



いこいの里(あぐりの丘)

間であること、応募団体の名称や役員構成に係る情報を選考審査委員会に開示し、的確に評価してもらう必要があったこと、審査で明らかになった内容では、将来に禍根を残しかねないことなどの反対意見が出され、採決の結果、賛成なく原案を否決しました。

決算審査

総務委員会

平成18年度長崎市一般会計歳入歳出決算(総務委員会所管部分)を認定

委員会では、各種市民団体に対する補助金のあり方の再検討の必要性、消防団運営費補助金の使途に対する本市の見解と、今後の補助のあり方などについて慎重に審査しました。

その結果、一部委員から、長崎市国民保護計画策定費は、計画の策定自体に賛成できないことなどを主な論拠とする反対意見が出されました。

一方、財政健全化に向けて、市役所全体が一丸となって効率的な手法や抜本的な対策を検討し、積極的に取り組んでほしい。義務的経費が増加する中、人件費について十分な検討を加えるとともに、その一方で各種施策、事業の精査を行い、必要な部分にはしっかりと予算を確保してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

厚生委員会

平成18年度長崎市一般会計歳入歳出決算(厚生委員会所管部分)を認定

総務費において、原爆資料館等に

いて委託料も多額であることから、展示製作委託の金額とその妥当性、観覧料徴収及び受付案内業務を随意契約にしなければならぬ理由について慎重に審査しました。



原爆資料館

委員会では、住民基本台帳ネットワークシステム管理運営費について、参加を強制することは憲法に違反していると考えられること、同和対策補助金については、一般行政への見直しを求める立場であることなどの反対意見が出されました。

一方、委託のあり方について、可能な限り入札を導入し、公平・公正を期してほしいこと、支所における住み込み管理人の必要性については、今後、検討してほしいことなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

文教経済委員会

平成18年度長崎市一般会計歳入歳出決算(文教経済委員会所管部分)を認定

教育費において、学校給食の給食調理業務の民間委託に対する基本的な考え方などについて慎重に審査しました。委員会では、学校給食は市の責任で行うべきであり、給食調理業務の民間委託はなじまないことなどの反対意見が出されました。

一方、ごみ及びし尿等の処理について、より一層の経費節減・効率化等に取り組んでほしいこと、学校校舎の修繕費に係る不用額が目立つことから、現場の問題の適切な解消に努めてほしいこと、県立長崎南商業高校の跡地活用について、積極的に県との交渉を行うてほしいこと、長崎団体の開催に向け、選手の育成等について、行政がバックアップをしてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。

平成18年度長崎市一般会計歳入歳出決算(建設水道委員会所管部分)を認定

建設水道委員会

土木費において、各種道路整備事業に多額の繰越金及び不用額が発生した理由と予算計上の考え方、今年度への繰越分に係る同事業の進捗の見込みなどについて慎重に審査を行いました。

委員会では、長崎県道路協会負担金等については、陳情政治の名残であり不要であること、新幹線対策費については、鹿島市などの同意が得られていないことや、多くの市民が反対しており、認められないことなどの反対意見が出されました。

一方、各種道路整備事業等において、今後、多額の繰越金及び不用額を発生させることがないよう、当初予算は年度内で執行するという強い意識をもって業務に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で本決算を認定しました。



県立長崎南商業高等学校